

医薬品等データベース以外の副作用情報

報告年月	動物用医薬品等の名称	製造販売業者等名称	動物種・数	副作用等の内容	講じた処置	転帰	情報源
2004年12月	“京都微研”キャナイン-バンガード7	株式会社 微生物化学研究所	犬	アレルギー、全身けいれん	不明(他病院にて処置)	回復	獣医師
2004年12月	バンガード7	ファイザー株式会社	犬	顔面腫脹	詳細不明	治療中	獣医師
2004年12月	バンガード7	ファイザー株式会社	犬	蕁麻疹、顔面腫脹	ステロイド、抗ヒスタミン薬	治療中	獣医師
2004年12月	コバルジン	呉羽化学工業(株)	猫	便秘	無処置	回復	使用成績
2004年12月	猫用ビルバゲンCRP	株式会社 ビルバックジャパン	猫	元気消失、食欲低下、発熱	プレドニゾン皮下注射	回復	獣医師
2004年12月	バンガード7	ファイザー株式会社	犬	顔面腫脹、顔面浮腫	抗ヒスタミン薬、デキサメサゾン	回復	獣医師
2004年11月	オプティミューン眼軟膏	ナガセ医薬品(株)	犬1	投与14日目上下内眼角の眼瞼中、投与部位の角	投薬中止(薬剤の変更)	回復	使用成績
2004年11月	デュラミューン 5	共立製薬株式会社	犬	起立不能、振せん、不安	デキサメサゾン静脈投与	回復	獣医師
2004年10月	“京都微研”キャナイン-バンガード7	株式会社 微生物化学研究所	犬	食欲低下、発熱、嘔吐	詳細不明	治療中	獣医師
2004年10月	“京都微研”ニワトリ6種混合ウイルスワクチン	(株)微生物化学研究所	鶏1群 16410羽	食欲不振	無処置		使用成績
2004年10月	デュラミューン 6	共立製薬株式会社	犬	嘔吐	レスタミン、プレドニゾン注射	治療中	獣医師
2004年10月	デュラミューン 8	共立製薬株式会社	犬	アレルギー反応、顔面腫脹、掻痒	デキサメタゾン投与	回復	獣医師
2004年10月	注射用モキシデックSR	共立製薬(株)	犬	投与6時間後に嘔吐	無処置	回復	使用成績
2004年10月	フェロボックス5	共立製薬株式会社	猫	発熱、食欲低下	ケトプロフェン投与	回復	獣医師
2004年10月	ユーリカン 5	メリアル・ジャパン株式会社	犬	嘔吐、全身発赤、全身痒み、蕁麻疹、呼吸速迫	デキサメサゾン投与、ジフェンヒドラミン投与	回復	獣医師
2004年9月	プレドニゾン注射液NZ	日本全業工業株式会社	犬	顔面腫脹、掻痒	詳細不明	回復	獣医師
2004年9月	デュラミューン 5	共立製薬株式会社	犬	顔面腫脹、包皮浮腫、掻痒	ステロイド、エピネフリン投与	回復	獣医師
2004年9月	バンガード7	ファイザー株式会社	犬	アナフィラキシーショック	エピネフリン、デキサメサゾン、輸液	回復	獣医師
2004年9月	デュラミューン 5	共立製薬株式会社	犬	両眼瞼腫脹、両耳介発赤	プレドニゾン、塩酸ジフェンヒドラミン投与	回復	獣医師
2004年9月	フロントライン スポット	メリアル・ジャパン株式会社	犬	浅速呼吸、全身発赤、頭	デキサメタゾン静注、レ	回復	獣医師
2004年9月	バンガード7	ファイザー株式会社	犬	元気消失、心悸亢進	プレドニゾン、ミノファージェン、グルタチオン、	回復	獣医師
2004年9月	デュラミューン 8	共立製薬株式会社	犬	アナフィラキシーショック状態、失禁、脱糞、虚脱、心拍呼吸数血圧低下	酸素吸入、ステロイド、エピネフリン、塩酸ジフェニルピラリン製剤、ジプロピリン、乳酸リンゲル投与	回復	獣医師
2004年9月	デュラミューン 8	共立製薬株式会社	犬	顔面腫脹	プレドニゾンとジフェンヒドラミンの皮下投与	回復	獣医師
2004年9月	デュラミューン 8	共立製薬株式会社	犬	ムーンフェイス、耳介内側皮膚の発赤	9/4 ハイスタミン2mg、プレドニゾン5mg皮下注射 9/5~9/7 セルテクト30mg経口投与(bid)	回復	獣医師
2004年9月	デュラミューン 8	共立製薬株式会社	犬	嘔吐(投与3時間後)、ムーンフェイス(投与9時間後)	ハイスタミン2mg皮下注射、プレドニゾン12mg皮下注射	回復	獣医師
2004年9月	デュラミューン 8	共立製薬(株)	犬1	アレルギー様症状(顔面腫脹)、元気消失、嘔吐	当日は処置をせずに経過観察した。念のためプレドニゾンとネオファージェン	回復	使用成績
2004年9月	デュラミューン 6	共立製薬(株)	犬1	元気減退	無処置	回復	使用成績
2004年8月	ゼナキル錠	ファイザー株式会社	犬	嘔吐	皮下輸液、12時間絶食絶水	回復	獣医師
2004年8月	バイトリルリマダイル	バイエル株式会社 ファイザー株式会社	犬	痒れん発作	フェノバルビタール注射、ジアセパム注射、投薬、輸液	回復	獣医師
2004年8月	フェロボックス3	共立製薬株式会社	猫	嘔吐、発熱、食欲減少	輸液、プレドニゾン、アンピシリン投与	回復	獣医師
2004年8月	“京都微研”キャナイン-9	株式会社 微生物化学研究所	犬	脱力、心拍数上昇、流涎	デキサメサゾン投与、酸素吸入	回復	獣医師
2004年8月	デュラミューン 8	共立製薬株式会社	犬	顔腫れ	デキサメサゾン、強肝剤投与	回復	獣医師
2004年8月	バンガード7	ファイザー株式会社	犬	アナフィラキシーショック	エピネフリン、プレドニ、レスミン、リンゲル、輸液	不明	獣医師
2004年8月	イバラキ病ワクチン-KB	株式会社 微生物化学研究所	牛	流産	無処置	流産	獣医師
2004年8月	動物用クロマイ注射液-S	三共エール薬品株式会社	犬	嘔吐、呼吸速迫、高体温、顔面の腫脹、発赤	デキサメサゾン、ジフェンヒドラミン、シメチジン投与、輸液	回復	獣医師
2004年8月	UDCA注射液「ミタカ」	三鷹製薬株式会社	牛	眼球が動かなくなり、四肢硬直し、転倒	リンゲル、ブドウ糖投与	回復	獣医師
2004年8月	“京都微研”キャナイン-9	株式会社 微生物化学研究所	犬	可視粘膜蒼白、元気消失、	静脈内輸液(ラクトリンゲル点滴)	回復	獣医師
2004年8月	セファガード	三鷹製薬(株)	牛5	注射部位の腫脹	無処置	消失	使用成績
2004年8月	バンガードプラス 5/CV	ファイザー(株)	犬1	嘔吐	無処置	回復	使用成績
2004年8月	バンガードプラス 5/CV-L	ファイザー(株)	犬1	顔、肉球の腫れ	ステロイド及び抗ヒスタミン剤	回復	使用成績
2004年8月	フェロボックス5	共立製薬(株)	猫1	元気減退、食欲減退、発熱	無処置 経過観察	回復	使用成績
2004年8月	フェロボックス5	共立製薬(株)	猫1	元気減退、食欲減退、下痢	下痢止め等を注射	回復	使用成績
2004年8月	フェロボックス5	共立製薬(株)	猫1	元気減退、食欲減退、局所反応(腫脹)	無処置 経過観察	回復	使用成績

報告年月	動物用医薬品等の名称	製造販売業者等名称	動物種・数	副作用等の内容	講じた処置	転帰	情報源
2004年8月	フェロボックス5	共立製薬(株)	猫1	元気減退、食欲減退、振戦、発熱、流涙	無処置 経過観察	回復	使用成績
2004年8月	フェロボックス5	共立製薬(株)	猫1	元気減退、食欲減退、発熱	無処置 経過観察	回復	使用成績
2004年8月	フェロボックス5	共立製薬(株)	猫1	元気減退、食欲減退、下痢	無処置 経過観察	回復	使用成績
2004年8月	フェロボックス5	共立製薬(株)	猫1	元気減退、食欲減退、発熱、下痢	無処置 経過観察	回復	使用成績
2004年8月	フェロボックス5	共立製薬(株)	猫1	発熱	無処置 経過観察	回復	使用成績
2004年8月	フェロボックス5	共立製薬(株)	猫1	嘔吐、下痢、アレルギー	ステロイド剤	回復	使用成績
2004年8月	フェロボックス5	共立製薬(株)	猫1	元気減退、食欲減退、局所反応	リンゲルとブドウ等の混合注射、ステロイド、抗生物質の投与	回復	使用成績
2004年8月	フェロボックス5	共立製薬(株)	猫1	元気減退、食欲減退	無処置	回復	使用成績
2004年8月	フェロボックス5	共立製薬(株)	猫1	元気減退、食欲減退	補液	回復	使用成績
2004年8月	フェロボックス5	共立製薬(株)	猫1	元気減退、食欲減退	皮下補液 静脈内注射液	回復	使用成績
2004年8月	フェロボックス5	共立製薬(株)	猫1	元気減退、食欲減退	無処置 経過観察	回復	使用成績
2004年8月	フェロボックス5	共立製薬(株)	猫1	元気減退、食欲減退	無処置 経過観察	回復	使用成績
2004年8月	クロミカルム錠20mg	ノバルティス アニマルヘルス(株)	犬1	嗜眠	無処置		使用成績
2004年8月	フォーベツト50注射液	ナガセ医薬品(株)	牛2	血便	無処置	回復	使用成績
2004年8月	牛サルモネラ2価ワクチン「北研」	(社)北里研究所	牛13	注射局所の腫脹	無処置	回復	使用成績
2004年8月	牛サルモネラ2価ワクチン「北研」	(社)北里研究所	牛5	注射局所の腫脹	無処置	回復	使用成績
2004年7月	フェロボックス3	共立製薬株式会社	猫	右瞬膜突出、後肢の不全	プレドニゾン投与	治療中	獣医師
2004年7月	アドバンテージハート	バイエル株式会社	犬	頸背部皮膚の炎症、円形・直径7mm、一部色素沈	剪毛、洗浄、ヨード消毒、ゲンタマイシン軟膏	治療中	獣医師
2004年7月	“京都微研”キャナイン-8	株式会社 微生物化学研究所	犬	嘔吐、虚脱、失禁、放棄、粘膜蒼白	エビネフリン、デキサメサゾン、抗ヒスタミン剤、輸液	回復	獣医師
2004年7月	デュラミューン 8	共立製薬株式会社	犬	顔腫れ、全身の皮膚発赤、発熱(当日) 血混下痢(翌日)	デキサメサゾンおよび強肝剤の投与	回復	獣医師
2004年7月	デュラミューン 5	共立製薬株式会社	犬	顔腫れ、嘔吐	デキサメサゾンの投与	回復	獣医師
2004年7月	ユーリカン 5	メリアル・ジャパン株式会社	犬	ムーンフェイス	プレドニゾンの内服	回復	獣医師
2004年7月	ユーリカン 7	メリアル・ジャパン株式会社	犬	発疹	プレドニゾンの内服	回復	獣医師
2004年7月	“京都微研”フィライン-8	株式会社 微生物化学研究所	猫	注射部位に皮下に硬結	無処置	後遺症	獣医師
2004年7月	“京都微研”キャナイン-9	株式会社 微生物化学研究所	犬	呼吸困難、貧血、嘔吐、ムーンフェイス	プレドニゾンの投与	回復	獣医師
2004年7月	スパキシム オーエスキフォルテ	共立製薬(株)	豚1	元気消失	無処置	翌日には回復	使用成績
2004年6月	ユーリカン 5	メリアル・ジャパン株式会社	犬	アレルギー反応、顔面腫脹、嘔吐、口唇の腫脹	無処置	回復	獣医師
2004年6月	デュラミューン 5	共立製薬株式会社	犬	アレルギー(口周囲の腫脹、耳振る、耳翼赤い)	デキサメサゾン投与	回復	獣医師
2004年6月	日生研狂犬病TCワクチン	日生研株式会社	犬	下痢、血便	内服でプレドニゾン、強肝剤の投与	回復	獣医師
2004年6月	カルドメック チュアブル	メリアル・ジャパン株式会社	犬	元気消失、食欲廃絶、後肢の不全	皮下補液、強肝剤、抗生物質の投与	回復	獣医師
2004年6月	フェロボックス3	共立製薬株式会社	猫	元気消失、食欲廃絶	プレドニゾン1mg/kg 皮下注射	回復	獣医師
2004年6月	デュラミューン 5	共立製薬株式会社	犬	アナフィラキシー反応(可視粘膜蒼白、虚脱、嘔吐)	ただちに補液、抗アレルギー剤、抗ヒスタミン剤、ステロイド剤、酸素吸入を実施	回復	獣医師
2004年6月	ノビバックDHPPi	株式会社 インターベツト	犬	ムーンフェイス、嘔吐	無処置	回復	獣医師
2004年6月	デュラミューン 8	共立製薬株式会社	犬	嘔吐、顔面浮腫、痒感、虚脱、皮膚の白色、脈がふれない	デキサメサゾン、抗ヒスタミン剤、エビネフリン、酸素	回復	獣医師
2004年6月	ユーリカン 7	メリアル・ジャパン株式会社	家庭犬	起立不能、アナフィラキシーショック、呼吸促進、嘔吐、虚脱	エビネフリン、静脈注射	回復	獣医師
2004年6月	狂犬病ワクチン-TC	株式会社 微生物化学研究所	犬	耳介内側の発赤(湿疹)	プレドニン1ml、皮下注射	回復	獣医師
2004年6月	“京都微研”キャナイン-9	株式会社 微生物化学研究所	犬	虚脱、可視粘膜蒼白	プレドニゾン投与、輸液	回復	獣医師
2004年6月	“京都微研”牛ヘモフィルスワクチン-C	株式会社 微生物化学研究所	肉用牛	食欲不振、食欲減退、軟便(黒色)、発熱、注射部位の硬結及び腫脹、	5/25ネオアスP20ml、ペニシリン600万2ヶ所M1、5/26ペニシリン300万M1、5/27良好	治愈	獣医師
2004年6月	ビクタスS MTクリーム	東興薬品工業(株)	犬1	嘔吐(軽度・2日目消失)	なし 継続投与	回復	使用成績
2004年6月	メタカム0.15%経口懸濁液	ペーリンガーインゲルハイムシオノギベトメディカ	犬1	下痢	投薬量半減	消失	使用成績
2004年6月	メタカム0.15%経口懸濁液	ペーリンガーインゲルハイムシオノギベトメディカ	犬1	嘔吐	投与中止	消失	使用成績
2004年5月	“京都微研”牛異常産3種混合不活化ワクチン	株式会社 微生物化学研究所	牛	食欲不振、胃運動一(硬固)、皮温冷感、頸部リンパ節肥大、盲腸気腸し、排糞少量	輸液、抗ヒスタミン剤	回復	獣医師
2004年5月	“京都微研”牛異常産3種混合不活化ワクチン	株式会社 微生物化学研究所	牛	体温40.1℃、元気沈うつ、食欲不振、胃運動一、頸部リンパ節肥大、	抗ヒスタミン剤、消化剤	回復	獣医師
2004年5月	“京都微研”牛流行熱・イバラキ病混合不活化ワクチン	株式会社 微生物化学研究所	牛	呼吸速迫、震戦	無処置	回復	獣医師
2004年5月	“京都微研”キャナイン-9II	株式会社 微生物化学研究所	犬	起立不能、アナフィラキシーショック、チアノーゼ、可視粘膜蒼白、虚脱	抗ヒスタミン剤、デキサメサゾン	回復	獣医師
2004年5月	デュラミューン 5	共立製薬株式会社	犬	ムーンフェイス、吐気	プレドニゾン1mg/kg 皮下注射	改善	獣医師
2004年5月	松研狂犬病TCワクチン	松研薬品工業株式会社	犬	食欲廃絶、発熱、起立不能、虚脱、旋回運動、嘔吐、心雑	補液、ステロイド投与	回復	獣医師
2004年5月	バンガード7	ファイザー株式会社	犬	元気鎮静、疼痛(接種部位)、血圧低下	プレドニゾンの静脈注射	回復	獣医師
2004年5月	ノビバックDHPPi	株式会社 インターベツト	家庭犬	顔面腫脹	抗ヒスタミン剤、プレドニゾン	回復	獣医師

報告年月	動物用医薬品等の名称	製造販売業者等名称	動物種・数	副作用等の内容	講じた処置	転帰	情報源
2004年5月	“京都微研”キャナイン-6	株式会社 微生物化学研究所	犬	嘔吐、元気消失、可視粘膜炎、心拍数低下	ブレドニゾロン1mg/kg筋注	回復	獣医師
2004年5月	日生研狂犬病TCワクチン	日生研株式会社	犬	3日間元気がなく、水様の下痢が続いた	無処置（加療せず、3日後自然治癒）	治癒	獣医師
2004年5月	“京都微研”キャナイン-6	株式会社 微生物化学研究所	家庭犬	呼吸促進、嘔吐、流涎	ブレドニゾロン投与	回復	獣医師
2004年5月	日生研狂犬病TCワクチン	日生研株式会社	犬	顔腫れ	デキサメサゾン、強肝剤投与	治癒	獣医師
2004年5月	デュラミューン 8	共立製薬株式会社	犬	ムーンフェイス	ブレドニゾロン1mg/kg皮下注射	回復	獣医師
2004年5月	パンガード7	ファイザー株式会社	犬	アナフィラキシー反応（嘔吐、虚脱、低血圧）	エピネフリン、デキサメサゾン、乳酸リンゲル	回復	獣医師
2004年5月	デュラミューン 5	共立製薬株式会社	フェレット	ショック、虚脱、嘔吐、徐脈。	ブレドニゾロン0.17ml、タガメット0.07ml、ペナスミン0.07ml、エピネ	回復	獣医師
2004年5月	ティアローズ	千寿製薬（株）	犬1	ドライアイ	無処置	本剤投与終了40日後に回復	使用成績
2004年5月	システックM	三共（株）	犬1	食欲不振	食餌変更	回復	使用成績
2004年5月	システックM	三共（株）	犬1	元気消失・食欲不振	副作用に対しては無処置	子宮蓄膿症治療中	使用成績
2004年4月	フェロボックス3	共立製薬株式会社	猫	接種部位の脱毛	ステロイド、抗生物質含	回復	獣医師
2004年4月	ノビバック DHPPi+L	株式会社 インターベット	犬	顔面腫脹、発赤、両前肢	ブレドニゾロン5mg筋肉注射	回復	獣医師
2004年4月	ノビバック DHPPi+L	株式会社 インターベット	犬	元気消失	他院にて治療、詳細不明	回復	獣医師
2004年4月	パンガード7	ファイザー株式会社	犬	顔面全体の浮腫（ムーンフェイス）	ステロイド、抗ヒスタミン剤投与	回復	獣医師
2004年4月	パンガード7	ファイザー株式会社	犬	元気消失と嘔吐	ステロイド及び抗ヒスタミン剤投与	回復	獣医師
2004年4月	“京都微研”キャナイン-6	株式会社 微生物化学研究所	犬	元気鎮静、食欲不振、嘔吐	エンロフロキサシン、ブレドニゾロン、シメチジ	回復	獣医師
2004年4月	ユーリカン 5	メリアル・ジャパン株式会社	犬	顔面の浮腫	ブレドニゾロンの投与	回復	獣医師
2004年4月	デュラミューン 8	共立製薬株式会社	犬	アナフィラキシー反応、顔面腫脹、痒痒、熱感	塩酸ジフェンヒドラミン、ブレドニゾロン投与	回復	獣医師
2004年4月	アゼジパミン注射液（人体用）	大洋薬品工業	チンチラ	腰麻痺	ATP投与、皮下輸液	死亡	獣医師
2004年4月	デュラミューン 8	共立製薬株式会社	犬	アナフィラキシー反応、呼吸速迫、嘔吐、発赤、顔面の痒み	皮下補液、デキサメサゾン、抗ヒスタミン剤の投与	回復	獣医師
2004年4月	パンガード7	ファイザー株式会社	犬	アナフィラキシー反応、呼吸速迫、嘔吐、発赤、顔面の痒み	ステロイド、抗ヒスタミン剤、抗生物質、輸液	回復	獣医師
2004年4月	アドバンテージスポット40犬用	バイエルメディカル（株）	犬1	嘔吐	無処置	1時間後に回復	使用成績
2004年4月	アドバンテージスポット40犬用	バイエルメディカル（株）	犬1	下痢	無処置	1.5日後に回復	使用成績
2004年4月	アドバンテージスポット40犬用	バイエルメディカル（株）	猫1	投与部位の脱毛	無処置	回復	使用成績
2004年4月	アドバンテージスポット40犬用	バイエルメディカル（株）	猫1	投与部位の脱毛及び発赤	リンデロン-VG軟膏を塗布	回復	使用成績
2004年4月	“京都微研”キャナイン-6	株式会社 微生物化学研究所	犬	ムーンフェイス	ブレドニゾロン、抗ヒスタミン剤	回復	獣医師
2004年4月	“京都微研”キャナイン-6	株式会社 微生物化学研究所	犬	ムーンフェイス、嘔吐	ブレドニゾロン投与、抗ヒスタミン剤	回復	獣医師
2004年4月	日生研狂犬病TCワクチン	日生研株式会社	犬	両結膜内出血、跛行	ブレドニゾロン、塩酸ジフェンヒドラミン投与	回復	獣医師
2004年4月	デュラミューン 8	共立製薬株式会社	犬	顔面腫脹	ブレドニゾロン皮下注射	回復	獣医師
2004年4月	デュラミューン 8	共立製薬株式会社	犬	倦怠、発熱、よろめき、振戦、知覚過敏、ア	不明	治療中	獣医師
2004年4月	パンガード7	ファイザー株式会社	犬	虚脱、アナフィラキシー反応、流涎、チアノーゼ	デキサメサゾン注、アトロピン注	回復	獣医師
2004年4月	フェロセルCVR	ファイザー株式会社	猫	後軀の虚脱、流涎、呼吸速迫	デキサメサゾン投与、輸液	回復	獣医師
2004年4月	ノビバックDHPPi	株式会社 インターベット	犬	食欲低下、顔面腫脹、嘔吐、元気がない	ブレドニゾロン6.3mg皮下注射、アトロピン10mg皮下注射	回復	獣医師
2004年4月	パンガード7	ファイザー株式会社	犬	ショック、虚脱、アナフィラキシー反応、嘔吐、虚脱、可視粘膜炎	抗ヒスタミン剤、デキサメサゾン	回復	獣医師
2004年4月	パンガード7	ファイザー株式会社	犬	振せん	無処置	回復	獣医師
2004年4月	パンガード7	ファイザー株式会社	犬	顔面腫脹	ステロイド投与、ジフェンヒドラミン投与	治療中	獣医師
2004年4月	ノビバック DHPPi+L	株式会社 インターベット	犬	食欲低下、過敏症、顔面腫脹、掻痒、嘔吐	デキサメサゾン5mg皮下注射、マレイン酸クロルフェニラミン10mg皮下注射	回復	獣医師
2004年4月	デュラミューン 8	共立製薬株式会社	犬	過敏症 等	デキサメサゾンを注射、アトロピン投与	回復	獣医師
2004年3月	タリビット錠100	第一ファインケミカル株式会社	犬	右眼瞼の腫脹（アナフィラキシー反応）	ジフェンヒドラミン及びデキサメサゾン投与	回復	獣医師
2004年3月	フェロボックス5	共立製薬株式会社	猫	呼吸過促、嘔吐、虚脱	デキサメサゾン投与、ジフェンヒドラミン投与	回復	獣医師
2004年3月	ネオアSP	東亜薬品工業（株）	牛1	心不全	無処置	死亡	モニター
2004年3月	ダイアモックス錠（人体用）	日本ワイズレダリー（株）	犬1	多尿 興奮（呼吸速迫）	最低作用量に近づける。	回復	モニター
2004年3月	ユーリカン 7	メリアル・ジャパン株式会社	犬	顔面の腫脹	ブレドニゾロン投与	回復	獣医師
2004年3月	ケタミン（フジ）	富士ケミカル工業（株）	猫1	不整脈、呼吸停止	人工呼吸、アトロピン、カテコールアミン投与	死亡	モニター
2004年3月	フロセミド錠（人体用）	不明	犬1	震え、血尿	ステロイド、補液	回復	モニター
2004年3月	フォルテコール錠5mg	ノバルティス アニマルヘルス（株）	犬1	元気・食欲不振、震え、血尿	注射、ステロイド	回復	モニター
2004年3月	ノビバック DHPPi+L	（株）インターベット	犬1	顔面腫脹	副腎皮質ホルモン	回復	モニター
2004年3月	フェロボックス5	共立製薬（株）	猫1	元気・食欲不振	ステロイド注射	回復	モニター
2004年3月	デュラミューン5	共立製薬（株）	犬1	元気・食欲不振	ステロイド注射	回復	モニター
2004年3月	“京都微研”キャナイン-6	（株）微生物化学研究所	犬1	接種後5～6時間後に嘔吐1回、顔面腫脹、全身の痒み	ブレドニゾロン注射	回復	モニター
2004年3月	デュラミューン 8	共立製薬株式会社	犬	顔面皮膚肥厚、全身の痒み	水性デキサメサゾンの投与	回復	獣医師

報告年月	動物用医薬品等の名称	製造販売業者等名称	動物種・数	副作用等の内容	講じた処置	転帰	情報源
2004年3月	デュラミューン 8	共立製薬 (株)	犬1	顔面腫脹	無処置	回復	モニター
2004年1月	ユーリカン5	メリアル・ジャパン (株)	犬1	ショック	デキサ注酸素吸入	回復	モニター
2004年1月	コバクタン	三鷹製薬 (株)	牛1	注射部位の腫脹	無処置	消失	使用成績
2004年1月	コバクタン	三鷹製薬 (株)	牛1	注射部位の腫脹	無処置	消失	使用成績
2004年1月	コバクタン	三鷹製薬 (株)	牛1	注射部位の腫脹	無処置	消失	使用成績
2004年1月	コバクタン	三鷹製薬 (株)	牛1	注射部位の腫脹	無処置	消失	使用成績
2004年1月	ユーリカン7	メリアル・ジャパン (株)	犬1	ショック	デキサ注酸素吸入	回復	モニター
2004年1月	イーエスイ	共立製薬 (株)	牛1	発汗、個急速迫、軽度腹瀉	抗ヒスタミン剤投与	回復	モニター
2004年1月	メチロン注10% (人体用)	第一製薬 (株)	猫1	流涎	無処置	回復	モニター
2004年1月	アデクワン	三共エール薬品 (株)	犬1	嘔吐 (軽度)	投薬中止	不明	使用成績
2004年1月	アデクワン	三共エール薬品 (株)	犬1	嘔吐 (軽度)	キャベジン投与	改善	使用成績
2004年1月	アデクワン	三共エール薬品 (株)	犬1	嘔吐及び下痢 (軽度)	ファチモジンとロペラミド投与	改善	使用成績
2004年1月	アデクワン	三共エール薬品 (株)	犬1	嘔吐及び下痢 (軽度)	無処置	不明	使用成績
2004年1月	アデクワン	三共エール薬品 (株)	犬1	(リマイダルとの併用例) 嘔吐、下痢及び食欲不振	タガメット、ソロンを3日間投与。リマイダル投与	下痢及び嘔吐は改善。	使用成績
2004年1月	メタカム0.15%経口懸濁液	ペーリンガーインゲルハイムシオノギベトメディカ	犬1	嘔吐	投薬中止	回復	モニター
2004年1月	フェロセルCVR	ファイザー (株)	猫1	皮下硬結	無処置	経過観察	モニター
2004年1月	フェロボックス5	共立製薬 (株)	猫1	発熱 食欲低下	インタキャット注射	回復	モニター
2004年1月	バイトリル注射液	バイエル (株)	犬1	注射後1時間で嘔吐2~3回	入院して経過を見る	回復	モニター
2004年1月	デュラミューン 8	共立製薬 (株)	犬1	数時間後に嘔吐	ブレドニゾン注射	回復	モニター
2004年1月	スキルペン2%注射液	(株) インターベット	猫1	嘔吐	乳酸リンゲル ビタミン剤の補給	回復	モニター
2004年1月	ノビバック DHPPi+L	(株) インターベット	犬1	顔面発赤	ブレドニゾン皮下注射	回復	モニター
2004年1月	フェロボックス3	共立製薬 (株)	猫1	元気消失、食欲なし	無処置	回復	モニター
2004年1月	“京都微研” キヤニン	(株) 微生物化学研究所	犬1	血管性浮腫	抗ヒスタミン剤	回復	モニター
2004年1月	フェロボックス3	共立製薬 (株)	猫1	発熱 (40.7°C) 沈鬱	ブレドニゾン4.6mg皮下注射	回復	モニター
2004年1月	フェリドバックPCR	(社) 北里研究所	猫1	注射当日の夜、嘔吐1回~下痢数回。翌日より回復	無処置	2~3日で自然完治	使用成績
2004年1月	ノビバック DHPPi	(株) インターベット	犬1	顔面腫脹	無処置	回復	モニター
2004年1月	フェリドバックPCR	(社) 北里研究所	猫1	注射部位の硬結 (直径約1cm) 2回目注射時	無処置	1ヶ月程で自然消滅	使用成績
2004年1月	ノビバック DHPPi	(株) インターベット	犬1	顔面腫脹	無処置	回復	モニター
2004年1月	フェリドバックPCR	(社) 北里研究所	猫1	食欲不振	無処置	4日目に回復	使用成績
2004年1月	動物用マイシリンゾル「ミタカ」	三鷹製薬 (株)	牛1	アナフィラキシーショック 可視粘膜チアノーゼ	ステロイドホルモン 輸液 強肝剤 抗アレルギー剤	2時間程度で消失	モニター
2004年1月	フェリドバックPCR	(社) 北里研究所	猫1	食欲不振	無処置	4日目に回復	使用成績
2004年1月	“京都微研” フィライン	(株) 微生物化学研究所	猫1	元気消失、食欲 (-)	ステロイド投与	回復	モニター
2004年1月	フェリドバックPCR	(社) 北里研究所	猫1	発熱 (39.2°C)。2日目に回復。無処置	無処置	回復	使用成績
2004年1月	“京都微研” 牛ヘモフィルスワクチン-C	(株) 微生物化学研究所	牛1	注射3時間後死亡	無処置	死亡	モニター
2004年1月	ラビノベット	シェリング・ブラウ (株)	犬6	粘膜チアノーゼ	器官内挿管及び酸素吸入	回復	使用成績
2004年1月	ラビノベット	シェリング・ブラウ (株)	犬2	血圧低下	輸液量あるいは速度の増加	回復	使用成績
2004年1月	ラビノベット	シェリング・ブラウ (株)	犬1	徐脈	無処置	回復	使用成績
2004年1月	ラビノベット	シェリング・ブラウ (株)	犬2	筋緊張	無処置	回復	使用成績
2004年1月	ラビノベット	シェリング・ブラウ (株)	犬1	粘膜チアノーゼ+血圧低下	気管内挿管・酸素吸入及び輸液量	回復	使用成績
2004年1月	ラビノベット	シェリング・ブラウ (株)	犬1	粘膜チアノーゼ+徐脈	気管内挿管・酸素吸入、徐脈に関しては、無処置	回復	使用成績
2004年1月	ラビノベット	シェリング・ブラウ (株)	猫1	徐脈+遊泳運動	アトロピン投与	回復	使用成績
2004年1月	ラビノベット	シェリング・ブラウ (株)	猫5	血圧低下	輸液量あるいは速度の増加	回復	使用成績
2004年1月	ラビノベット	シェリング・ブラウ (株)	猫1	徐脈	無処置	回復	使用成績
2004年1月	ラビノベット	シェリング・ブラウ (株)	猫6	遊泳運動	無処置	回復	使用成績
2004年1月	ラビノベット	シェリング・ブラウ (株)	猫1	不整脈+血圧低下	リドカイン投与及び輸液量の増加	回復	使用成績
2004年1月	ラビノベット	シェリング・ブラウ (株)	猫1	頻脈+遊泳運動+筋緊張	マスク導入	回復	使用成績
2004年1月	ラビノベット	シェリング・ブラウ (株)	猫1	遊泳運動+興奮+注射疼痛	無処置	回復	使用成績
2004年1月	フェリドバックPCR	(社) 北里研究所	猫1	注射部位の硬結 (直径約1cm) 2回目注射時	無処置	自然消滅	使用成績